

教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 森 戸 卓 也 織
編集人 福 山 香
電話 050(3538)2346
1部15円 年定価360円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2024/10・15

No. 2103

・第74次兵庫県教育研究集会
・兵政連だより
・夏休みファミリーパズル当選者発表

三田市議会議員選挙 山崎たけしさん 初当選!

9月29日に執行された三田市議会議員選挙で、兵教組推せん山崎たけしさんが激戦を制し、初当選を果たした。



山崎たけしさんの声

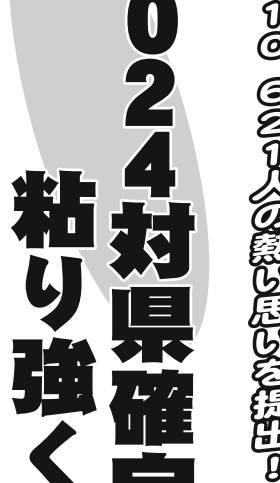
三田市議会議員選挙へのご支援、ご声援に元気づけられ、最後まで精一杯活動できた。本当にありがとうございました。

「教育 つながる ほっこり 三田」のスローガンを掲げ、学校現場の声を市政に届ける決意で挑んだ今回の選挙は、22の定数を33人の立候補者が争う厳しいものとなった。

この1週間の間に、皆さんの力を借りて、勉強させていただきながら、自分自身成長できた。



今後の活動の様子も SNSにて発信予定!



これからも応援よろしくお願ひします。

「現場、市民の声を聞く」ことも大切だと感じた。

様々な場所で市民の方と交流し、地域それぞれの困りごとや政治に対する意見をいただいた。

これからの教育の課題はもろろんのこと、公共交通機関の問題、地域格差の問題についても、困っている市民の方の思いを共有していきたい。

皆さんの声を市政へしっかり届けて、より良い三田にしていく。

「現場、市民の声を聞く」ことも大切だと感じた。

様々な場所で市民の方と交流し、地域それぞれの困りごとや政治に対する意見をいただいた。

これからの教育の課題はもろろんのこと、公共交通機関の問題、地域格差の問題についても、困っている市民の方の思いを共有していきたい。

皆さんの声を市政へしっかり届けて、より良い三田にしていく。

能登半島地震 被災地学校へ 教育支援ボランティア派遣 第2弾

山田 重成さん(神戸)

7月24・26日「能登半島地震」教育支援ボランティアに参加した。日教組執行部1人と近畿ブロック組合員5人の計6人での支援活動で、児童への水泳指導と学習支援をおこなった。

柳田小学校は、能登町の山間部に位置するとてもきれいな小学校で、まったくと言ってよいほど震災の爪痕が見られない佇まいにギャップを感じた。その理由は、出迎えていただいた先生の話ですぐにわかった。

能登町は山間部よりも海沿いの地域の被害が甚大であり、山間部に位置する柳田小学校が避難場所として

最適だったそうである。区内では児童やその家族の死者、行方不明者はいなかったと聞いて胸をなでおろした。その一方で、避難者やその家族を受け入れる小学校となった。現在でも避難してきている子どもが在籍している。様々な境遇をもつ子どもたちとの出会いとなった。

石川県は震災に関係なく夏休みに補習授業をするのが慣習ということにも驚かされた。

午前中の2時間で、低学年と高学年にわかれ、交互に水泳授業と授業をおこなった。

初日は、子どもも緊張気味で微妙な距離感があったが、時間がたつにつれて子どもたちから「この問題教えて!」「これ、どうすればいい?」と声をかけてくるようになった。高学年になると「大阪弁で何て言うの?」「神戸ってどんなところ?」と話しかけてくる子どももいた。

もちろん、その中には避難してきている子どももいて、そういう子どもを迎え入れてくれる柳田の子どもと自然な様子でつながりあっている姿が見られた。

また今回の能登訪問で、あまりにも遅い復旧の現状に驚いた。輪島市内のホテルを拠点にしていたが、そこに行くまでの道路事情、各集落の被災状況など、発災直後にメディアを通して見たままの様子に、行政や

民間の支援が止まったままと言っても過言ではない現状を眼前にした。

私自身、阪神・淡路大震災の被災者である。実家も全壊し、避難所生活で途方に暮れていた日々もあったが、半年が過ぎた頃には家屋の撤去や更地が目立ち、次の未来へむけてすすまざるを得ない現状を受け入れていた記憶がある。それも自分の町が、周囲の人々が変化していく中で、自分だけではない、みんなで復旧・復興していくんだという思いが湧いてきていたのである。あまりにも変わらな



学習支援の様子

兵教組・県職労 第2回県人事委員会事務局長交渉を実施

10月3日、兵教組は、県職労とともに、第2回人事委員会事務局長交渉をおこない、古川事務局長から、現時点での見解が示された。回答を受け、松浦書記長は現場の実態をもとに①教職員の「未配置問題」の解消②号給の継ぎたしをはじめとする中高年齢・高齢層職員のモチベーションの維持・向上③管理職手当の減額措置の解消について要請した。

さらに、谷中央執行委員長より「すべての職員の安全・安心につながり、心身ともに健康で働くことができる処遇改善と職場環境の整備にむけて、最終、最後までの検討を重ねてお願いする」と改めて要請した。

※詳細は 闘争速報No.5を参照

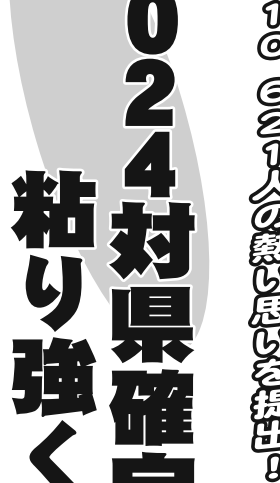
兵教組地区代表・県職労支部代表 県人事委員会へ要請

9月27日、兵教組・県職労両組合は、兵庫県人事委員会に対して、県内各分会より届けられたジャンボハガキ(10,621通:兵教組9月27日到着分まで)および署名(2,706筆:県職労)を提出し、兵教組各地区代表・県職労各支部代表による要請行動をおこなった。

第1波統一決起集会

学校現場の厳しい勤務実態をもとに、兵教組からは「教職員の未配置問題の解消」「長時間労働の是正」などを訴え、組合員の生活改善・士気高揚につながる報告・報告をもとめた。

県人事委員会に対する要請行動終了後、兵教組と県職労は、ラッセホールで第1波統一決起集会を開催し、兵教組からも多数の組合員が参加した。



ジャンボハガキを手交する谷中央執行副委員長



第1波統一決起集会の様子

2024対県確定闘争勝利にむけ、粘り強くとりくみすすめてよう!

10,621人の熱い思いを提出!

兵庫県知事選挙(10月31日告示 11月17日執行予定)

かずみ 和美さん

新しい兵庫を ともにつくる

私の決意

今この県政の混乱と停滞をこのままにしておくことはできません。

私が皆さまとともにつくりたいのは、多様な県民の声が届く、風通しのよい県政です。

安心で多彩な魅力あふれる兵庫を、皆さまとともにつくっていきたい。

(いなむらさんHPより抜粋)

分科会 11/9 土 9:30-17:00

☆ 手に入れよう! 300本の教育実践レポート
☆ 語り合おう! 悩みや想いを共有しよう
☆ つながろう! 県内各地のなかまたちと

神戸市立こうべ小学校会場

- 社会科教育
- 算数・数学教育
- 美術教育
- 技術・家庭科教育
- 総合学習
- ジェンダー平等教育
- 環境・公害・食教育
- 平和教育
- メディア・リテラシー教育と文化活動
- 評価・選抜制度と進路保障
- 教育課程
- 教育条件整備の運動
- 生きる力を育む教育

明日からの教育実践にすぐに生かせるアイデアが満載! 失敗談や困り感、経験をもとにした充実した討議も魅力的! 分科会に参加して、一緒に学びましょう。

神戸市立山の手小学校会場

- 日本語教育
- 外国語教育
- 理科教育
- 音楽教育
- 保健・体育
- 自治的諸活動と生活指導(小)(中)
- 幼年期の教育と保育問題
- 人権教育
- インクルーシブ教育
- 国際連帯・多文化共生の教育
- 学校・地域における教育改革運動
- 小規模・少人数校の教育

各校でのとりくみ報告や共同研究者から具体的な助言もあり、今後の授業のイメージがたくさんてたよ。

「やってみよう!」
「この考え方は自分にはなかった」
など、いろいろな気づきがあり、とても充実した時間だったよ。

プレフェスティバル 子どもと親の劇場

10/27 日 14:00-15:50 JR神戸駅から南へ約500m

(一社) 貞松・浜田パレエ団公演 会場 神戸新聞松方ホール

『動物のカーニバル・白鳥の湖・日本のパレエ(祭)』

上演協力金: 小中学生500円・おとな1,000円

参加申込: 二次元コードを読み取るか、クリックしてください



新しい出会いと学びの場 みんなで 見 研 へ行こう!

分科会 11/9 土 9:30-17:00

会場 神戸市立こうべ小学校

神戸市営地下鉄県庁前駅から北へ約400m

JR・阪神元町駅から北へ約800m

神戸市立山の手小学校

神戸市営地下鉄県庁前駅から北西へ約800m

神戸市営地下鉄大倉山駅から北東へ約650m

約300本の教育実践レポートをもとに討議

各教科・課題別の分科会が開催

全体会 11/10 日

展示・体験 9:30-12:30

全体会 10:00-12:10

会場 神戸市立西区文化センター

なでしこホール

神戸市営地下鉄西神中央駅から約200m

25年1月17日は阪神・淡路大震災から30年

全体会、展示・体験は震災をテーマに開催

☆ 分科会・全体会は託児所も設置します

☆ 参加に際して配慮や調整が必要な場合はお知らせください

申込方法

【最終申込締切は10月25日(金)】
下記二次元コードを読み取るか、クリックしてお申し込みください



連絡先

078-241-2345[兵庫県教職員組合]

もしくは組合員は所属の地域組合へ

ひょうご教育フェスティバル 第74次兵庫県教育研究集会



第74次兵庫県教育研究集会

ひょうご教育フェスティバル

11月9・10日神戸市で開催
神戸市で「第74次兵庫県教育研究集会(ひょうご教育フェスティバル)」を開催する。兵庫県教育委員会や神戸市教育委員会、校長会、PTA協議会、連合兵庫などの後援を受けている。教職員と保護者、子ども、働く仲間の皆さんや地域の方々が、教育や子育てについてともに語り合い研究を深めて話し合う。

また、5年ぶりに展示・体験コーナーを設け、子ども笑顔や歓声が聞こえる「地域に開かれた教育研究集会」として開催する。9日(土)の分科会では、神戸市立こうべ小学校と神戸市立山の手小学校にわかれて、24の分科会で、300本のレポート報告をもとに日頃のとりにくみや教育実践について話し合う。

10日(日)の全体会では、神戸市立西区文化センターなでしこホールで「こーディネーター」として大森直樹さん(東京学芸大学)、シンポジストとして永田守さん・三村理加さん・白石草さんを招き「子どもと災害にどう向き合うか」も12030年に巨大地震が起きたら?」と題した教育シンポジウムがある。

展示・体験コーナーについては、下記チラシにて詳しく掲載。

参加無料 防災・減災をテーマにした

ひょうご教育フェスティバル

第74次兵庫県教育研究集会全体会

2024.11.10 日 9:30-12:30

in 神戸市立西区文化センター

申込は二次元コードから

展示・体験コーナー

防災・減災教育をテーマにした多種多様な展示と、作ったり、体験したり、楽しみながら防災を学べるわくわく体験コーナーがいっぱい!

- 体験** 紙芝居上映会 「阪神淡路大震災～まーくんが伝えたいこと～」
阪神・淡路大震災の犠牲になったまーくんが命の大切さと命の守り方を伝えます。
⑩9:30～10:00
⑪11:00～11:30
北淡震災記念公園 野島断層保存館
- 展示・体験** AR・VRで体験 NHKアーカイブ映像から学ぶ震災
AR(拡張現実)の技術によって、現在の街の地図上に阪神・淡路大震災当時の映像を見ることが出来ます。震災当時の街の様子を映像と音で体感してください。VR(仮想現実)を通じて地震の揺れを体感できるコーナーも。
NHK神戸放送局
- 体験** ダンボールで避難所体験 (新聞紙スリッパづくり・語り部体験)
避難所の生活ってどうなるの? 作って、聞いて、学びましょう
⑩10:00～10:40
⑪11:40～12:20
NPOふたば
- 展示** 能登半島地震多言語放送パネル展
能登半島地震発生直後、命を守る行動を促すために多言語と手話を含めて放送した内容をパネルにしました。
サンテレビ
- 展示・体験** 防災絵本を読んでみよう!
「100年先の未来まで伝えたい大切なこと」を描いたオリジナル防災絵本を読んでみませんか? 阪神・淡路大震災の写真等のパネル展示も一緒に。
阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター
- 展示** 出張「震災資料室」
ラッセホール地階の震災資料室にあるパネル・文集、発刊した書籍等を出展展示し、当時はふりかえります。
兵庫県教職員組合・兵庫教育文化研究所
- 体験** オリジナル防災タンブラーをつくろう
エコタンブラーを思いのデザインにかざり付け、防災グッズを入れておける防災タンブラーをつくりませんか?
⑩9:30～10:00
⑪11:00～11:30
NPO法人アトリエ・Petata
- 体験** 防災おかしボジェットづくり体験
子どもたちの大好きなお菓子を入れたボジェットを手づくりして、防災について一緒に考えませんか?
【3歳以上、親子で参加】
⑩10:00～11:00
⑪11:30～12:30
(一社) おいしい防災塾
- 体験** アート×防災ワークショップ
1枚の袋から何ができるか、一緒に考えてみませんか?
楽しみながらみんなでつくろう! 防災学習は発想力から!
神戸教組防災・減災教育部会
- 展示** 阪神・淡路大震災 震災から6ヵ月間の出来事
阪神・淡路大震災で甚大な被害を受け、被災した人々が直面した様々な出来事を、6ヵ月間を抽出してパネルにして展示します。
神戸アーカイブ写真館
- 展示** 防災食レシピ展
阪神・淡路大震災などの災害について学習した際に、ポリ袋調理の方法を学びました。調理実習や家庭学習で活用した防災食レシピを紹介します。
神戸市教育実践研修 食教育グループ北ブロック
- 展示** 震災・学校支援チーム(EARTH)展
兵庫発の震災・学校支援チーム(EARTH)の活動を紹介します。能登半島地震における活動の詳細も是非ご覧ください。
兵庫県教育委員会

兵政連だより
神戸市議会議員(東灘区)「やのこうじ」さんより、兵教組組合員にむけてメッセージが届いた。

9月22日に神戸市会本会議にて、決算代表質疑をおこないました。

① 高校生等通学定期券の補助制度の対象について
東灘区在住の生徒が隣の芦屋市の高校へ通学の際、現状では通学定期券補助の対象外となっている。今後、同じ第1学区である芦屋市の高校へ通学する生徒も、通学定期券の対

象に。② トライやる・ウィークについて「教職員の負担軽減のため、トライやる・ウィーク推進協議会が、生徒の受け入れが可能な事業所の検索から受け入れ依頼まで、一貫して調整できるシステムの構築が早急に必要ではないか。」

③ 部活動の地域移行について「今後10年間で1万人の生徒が減少(中学校25校分)し、教職員数も減少する。部活動の練習試合の引率の際、会場への交通費は教職員の自腹であり、その際に起こるトラブルには責任が発生し、最悪なケースでは、顧問が懲戒処分の対象ともなりかねない。日々奮闘している教職員の自己負担は限界を迎えている。日頃から神戸教組執行部と連携し、組合員のみならずの切実なる声を、神戸市に代弁してまいります。

夏休みファミリーパズル 当選者発表

夏休みファミリーパズルにご応募いただき、ありがとうございます。正解者の中から抽選で20人の方に粗品をお送りいたします。

パズルの解答とともに、「養護教員部サマーセミナー」の記事において、養護教員のとりくみや活躍を教育ひょうごを通じて組合員の皆さんに知っていただき嬉しい、「組合活動の意義について再確認できた」などの感想をいただきました。

今後よりよい紙面づくりをめざしてまいります。よろしくお願いたします。(編集部)

- 当選者の皆さん**
- 高木友里(西宮)、北井優美花・涼都(芦屋)、宮城友子(伊丹)、大森明美(伊丹)、加門寿美代(三田)、堺真砂子(明石)、中川珠実(東播)、中井友子(加小)、藤田道子(加小)、堂瀬智之(姫路)、高橋佳輝(姫路)、山名幸一・みどり(姫路)、中島知恵(神戸)、池田彩(赤相)、岡田侑子(豊岡)、中尾和寿(朝来)、赤尾実紗(氷上)、山田由佳利(多紀)、吉川祐加(洲本)、日外千景(津名)
- ★皆さんの感想やご意見をお待ちしております。

子どもも楽しめるよ! みんなで参加してね
※【要事前申込】のコーナーは10月25日(金)までに定員を超えた場合、抽選となります(結果は後日連絡)
主催: 兵庫教育文化研究所・兵庫県教職員組合
後援: 兵庫県教育委員会・神戸市教育委員会 他